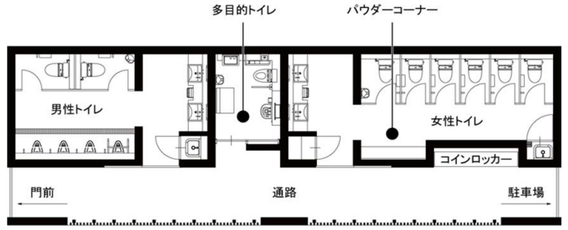
鎌倉長谷寺門前トイレ

TOTO

外観

アジサイと紅葉で有名な鎌倉の長谷寺は、コミュニティプレイスとして四季を通じて多くの人でにぎわう。その評判からここ数年は外国人観光客も急増し、毎年100万人以上の参拝者を数える。

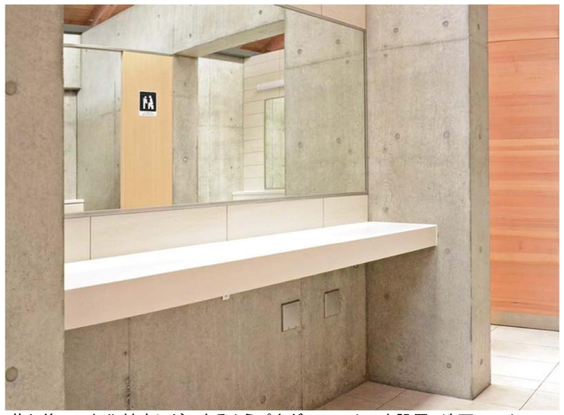
トイレ図面



女性トイレ ひろびろブース

小さなお子様連れに配慮して、男女トイレに1ヶ所ベビーチェアを備えたひろびろブースを用意している。

女性トイレ パウダーコーナー



落ち着いてお化粧直しができるようパウダーコーナーを設置。洗面コーナーの混雑緩和にもつながっている。旅行者の大きな荷物が置けるように、奥行きのある棚を設置している。

トイレ外観

お寺の雰囲気にマッチした木製の格子が印象的なトイレ舎。防犯対策として、出入口には防犯カメラを設置し、夜間は施錠を行っている。

トイレサイン

男女トイレと多機能トイレがひと目でわかるトイレサインは、遠くからでも見やすいように、壁から飛び出す形のサインとしている。外国人配慮として英語表記を行っている。

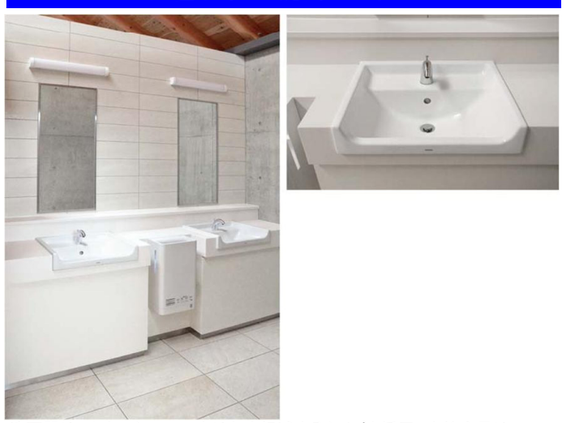
男性トイレ 小便器コーナー

小便器は小さなお子様にも使いやすく、床の清掃性に優れた壁掛式のRESTROOM ITEM01小便器を採用。腰壁には、尿の飛散による汚れやにおいを軽減するハイドロセラ・ウォールを採用し、フックも設置。

多機能トイレ

車いす使用者やオストメイトの方、小さなお子様連れなど、さまざまな使用者を想定して、オストメイト対応トイレパックやベビーチェア、おむつ交換ができるベビーシートを完備している。

女性トイレ 洗面コーナー



洗面器は、カウンターへの水はねを軽減するタイプを採用。水栓金具は、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を設置。洗面器の間にクリーンドライを設置し、手洗い後の床への水垂れを抑えている。

女性トイレ 大便器ブース

混雑緩和のために大便器ブースを増設。すべてのブースに高齢者の方に配慮して、使用中の座位の安定や立ち座りをサポートするL型手すりを設置している。

建築概要

名　　称	鎌倉長谷寺 門前トイレ
所 在 地	神奈川県鎌倉市長谷3-11-2
施　　主	鎌倉 長谷寺
設　　計	株式会社 A&T建築研究所
施　　工	株式会社 ロイヤルパシフィック
竣工年月	2015年4月

水まわりの特長

＜新築の経緯＞

鎌倉の西方極楽浄土と謳われ、1年を通じ「花の寺」として親しまれる長谷寺。公衆トイレとしても開放している門前トイレは、近年の観光客増加により、行楽シーズンにはトイレ利用者の行列ができるほど混雑が深刻化、また利用頻度が高まるほどに清掃作業が追い付かず、汚れやにおいがするなどの問題が発生していた。そのため、既存の門前トイレを廃止し、駐車場の一角に門前トイレ舎を新設。最新器具を採用するなど設備の拡充を図り、「清潔・快適・お寺ならではの気を感じさせるトイレ」が完成した。

＜トイレの特長＞

女性トイレの混雑緩和と利便性の向上を図るため、大便器ブース数を倍増し、パウダーコーナーを設置。大便器には、おもてなしの心からすべてウォシュレットを設置。また、小さなお子様連れの方に配慮して、男女トイレともに、ベビーチェアを備えたひろびろブースを1ヶ所設置している。維持管理は、長谷寺の職員が行い、ランニング費用は公衆トイレとしても活用しているため市が負担している。寺の雰囲気と調和した外観。内部は天井が高く風通しもよいため、においがこもらず、天窓からは自然光が降り注ぐ。明るく心地よい、まさに人の心に安らぎを与えるお寺にふさわしいトイレ空間となった。

2015.09 作成　無断複製・転載禁止　（C） TOTO. LTD. 2015 All Rights Reserved　24025